

<h2 style="margin: 0;">古典A</h2>

[島原中央高等学校]

教科名	国語	単位数	2単位	学科・学年	普通科 3年 キャリア
教科書名	改訂版 標準古典A			出版社名	第一学習社
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	古典への興味・関心を喚起させるために、古典という言語文化を正しく継承し、現代に活かす態度を育てる。古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	古典事項を理解する。 わが国の文化と伝統に対する関心を深め、生涯に渡って古典に親しむ態度、人生を豊かにする態度を育てる。 人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。				
成績評価	定期考査、課題、提出物、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価する。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	雪のいと高う降りたるを	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的仮名遣いに触れる。 ・ 宮廷生活の一コマを味わう。 ・ 筆者の機知を読み取ると同時に、中宮が筆者のよき理解者であったことを理解する。 ・ 自然観照や人間観察の鋭さに触れる。 ・ 筆者の機敏な対応に対する人々の賞賛がこめられている点を理解する。 	●	●	●	●
5	中納言参りたまひて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮廷生活の様子を理解する。 ・ 中宮をめぐる人間関係を理解する。 ・ 筆者の機知あふれる対応を読み取る。 ・ 敬語表現を理解する。 	●		●	●
6	春は、あけぼの あづさ弓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を繰り返し音読し、暗唱できるようにする。また、耳で聞くことにより古文の調子に慣れ親しむ。 ・ 筆者の自然美に対する描写を味わい、筆者の心情や思想、ものの見方などを考察する。 ・ 四季の移り変わりにたえず変化する自然の美しさ、新鮮さを読み取る。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 歌物語における和歌の役割を理解する。 	●	●	●	●

7	弓争い とりかえばや物語	<ul style="list-style-type: none"> 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 登場人物の対照を理解する。 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 	●		●	●	
9	とりかえばや物語 推敲	<ul style="list-style-type: none"> 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。 短めの文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 	●		●	●	
10	水魚之交	<ul style="list-style-type: none"> 漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方、考え方を味わう。 	●			●	
11	仁人心也	<ul style="list-style-type: none"> 中国の主要な思想である儒家・道家・法家の主張の概要を理解する。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 	●		●	●	
12	柔弱	<ul style="list-style-type: none"> 否定・感嘆・限定・反語・比較などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 古代中国の思想から、現代に通ずるものの見方・考え方を知る 	●		●	●	
1	鴻門の会	<ul style="list-style-type: none"> 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 漢楚の興亡についての概要を知る。 	●		●	●	
2	鴻門の会	<ul style="list-style-type: none"> 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 歴史の中の人間について考える。 	●		●	●	
3	四面楚歌	<ul style="list-style-type: none"> 漢と楚の興亡の忠実を学ぶとともに、作者の文学的描写を味わう。 文中のあらゆる句形について文法の力を養う。 	●		●	●	

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・ 難しい語句や表現は古語辞典で調べる習慣をつけましょう。
- ・ 文語文法を理解し、自分で現代の言葉に訳ができるようになりましょう。
- ・ 定期的に行われる試験には積極的に取り組みましょう。